

平成29年度事業計画書

I 基本方針

今日の私立学校を取り巻く環境は、少子化の進行による児童・生徒・学生のいわゆる就学人口の減少に加え、教育を取り巻く環境や社会経済情勢の変化、さらには学校施設の耐震化の取組など一段と厳しさを増しています。

また、教育基本法第6条に定めるとおり、私立学校は公立学校とともに公の性質を有するものとして公教育を担っているところであり、教育の質の充実・向上はもとより、幼児教育から高等教育・職業教育までの県民の教育機関の確保・充実が強く求められています。

こうした中、平成26年4月より「公益財団法人山口県私学教育振興財団」となり、私立学校教育を支援する総合的な振興機関として、経営基盤の強化に努めながら、山口県及び私学関係団体等の協力のもと、私立学校の教職員等の待遇改善のための退職金資金給付事業、学校施設の整備、経営基盤の安定化に必要な資金の貸付事業、県内私学教育の拠点としての山口県私学会館の管理運営、私学振興対策事業など、定款の目的に沿った各種事業を積極的に行ってまいります。

II 事業内容の概要

1 退職金資金給付事業

私立学校教育の充実に不可欠である優秀な教職員を確保するためには、教職員の待遇改善や安心して教育活動ができる環境の整備が必要であることから、学校法人等負担金、山口県補助金及び積立資産運用益を原資として、退職金の支給に必要な資金を学校法人等に給付します。

昨今の厳しい資金運用環境の中で、安定的な退職金資金の給付を継続するため、定期的に財政再計算に基づいた見直しを進めてまいります。

(1) 退職金資金の給付見込額

750,000千円

(2) 資金の管理及び運用

退職事業積立資産については、企業年金制度（指定金銭信託契約：みずほ信託銀行9割、企業年金保険契約：明治安田生命保険1割）、資金運用信託（みずほ信託銀行）及び国債等で運用。

(3) 県補助金及び負担金（負担率）

① 県補助金

県補助金の交付率は36/1000、補助金額は219,409千円を予定。

② 負担率

高等学校・中学校 129/1000

幼稚園 86/1000

③ 給付率

4月1日より新たな給付率（一律5%減）を適用する。

2 貸付事業

私立学校の経営の安定及び財務運営の適正化を図るために必要な資金の貸付を行います。

(1) 制度融資・災害貸付

県借入金による私立中学校・高等学校及び学校法人立幼稚園の施設整備や経営のための制度融資並びに災害復旧に要する経費に対する貸付。

(2) 一般貸付

私立中学校・高等学校の運営経費等に対する当財団の資金による貸付。

- ・本年度貸付資金額 20,000千円
- ・貸付時期 6月、10月、3月
- ・貸付期間 3年（内据置1年）
- ・貸付利率 年4.0%

3 山口県私学会館管理運営事業

県内私学教育の充実のための事業活動の拠点として有効に活用できるように山口県私学会館の適切な管理運営に努めます。

4 私学振興対策事業

私学振興のための要望・陳情活動及び私学会館入居団体の事務費節減等のための団体事務の共同化に取り組みます。

5 財団の運営

理事会 3回

評議員会 1回

監査 1回

審査委員会 貸付事業への申込みに応じて開催